

令和3年からビレッジプラン2030の取組を始め、4年となりました。上高柳、下高柳の役員と加茂市、JA、普及センターで検討し、少しずつ進んでおります。

今年度の取組を報告させていただきますので、今後も皆様からのご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年の活動

毎月の検討会

昨年、3つの項目を設定し、

- ①農業の受け皿組織の設立
- ②米以外の品目試作
- ③地域コミュニティの維持

4月以降①と②を中心に検討してきました。



検討会の様子

農業の受け皿組織や農地の維持

今年、美人の湯で行われた加茂市地域計画の協議の場でも検討され、上高柳は当面、個人の担い手で対応可能。下高柳は受け皿となる担い手がほぼいない。ということから、将来に向けて地域農業を維持するには、個人と組織で受け皿となる必要があるという話になりました。

米以外の品目試作

ウコン、薬草、イモ類、山菜、キノコ、島とうがらし、メンマなど意見が出ましたが、猿イノシシの被害を受けないもの、または電気柵等対策を行って栽培するなど、引き続き検討し、できるものから試作を行う予定です。

高柳農業生産組合の設立

9月21日に下高柳のメンバーを中心に生産組合が設立されました。地域農業の受け皿として、また、荒廃農地の発生防止に向けて活動します。

今年は、荒廃地対策として、ソバの試作を準備しています。



試作ほ場の耕耘



試作ほ場の不要樹伐採

今後の活動

上高柳、下高柳の代表により、毎月検討会を開催します。

地域農業の維持、集落機能・地域コミュニティの維持に向け、皆様から提案していただき、皆で検討していきたいと思えます。

皆様の参加と具体的な活動の提案をお待ちしています。相談はお近くの役員まで。